

～アジアマスターズレポート part2～

こんにちは。

グラーナスプリントクラス、コーチの鷲野です。

私は2019年 11/30~12/6にかけて、マレーシアはクチンで行われた陸上競技のアジアマスターズ大会にサポートメンバーとして、選手に帯同してきました。

今回のレポートではアジアマスターズの試合について話していこうと思います。

マスターズの大会では、年齢ごとにクラスが分かれており、その年代でのチャンピオンを決めます。

私たちが出場した種目は35歳～39歳までのクラスの100mと4×100mリレーです。

100mは12/2、4×100mリレーは12/5に予定されていました。

～12/1～

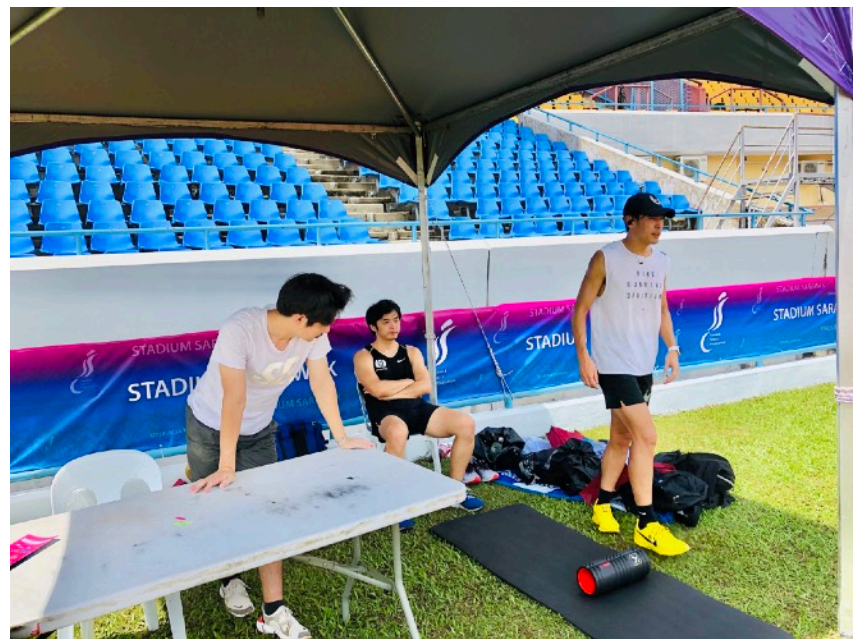
この日は100mの試合前日ということで、試合会場の下見と練習のためにサラワックスタジアムを訪れました。



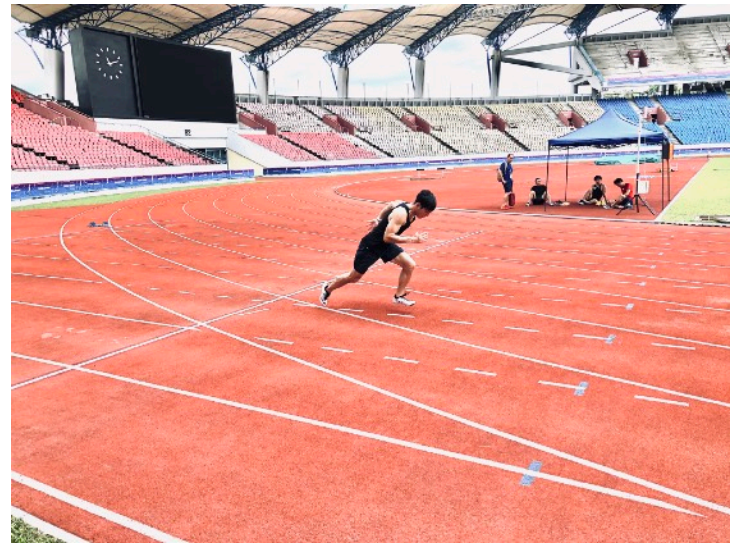
<写真はスタジアムに向かう途中の様子です。右の写真は、筋膜リリース用のローラーが転がるほど歪んだトラックに思わず失笑しているところです。>



＜スタジアムに到着し、爆笑する選手一同。爆笑の理由は忘れましたが、リラックスしたい雰囲気でした。＞



＜グラウンドにてウォーミングアップ開始前の様子。日のあたる場所は35℃を超えるので日陰に待機場所を設置。＞



＜左の写真は秋本さん。マレーシアの太陽が似合いますね。右の写真は仁井さん。アップをしている時からフォームが綺麗です。＞



ここで今回大会に出場するイカしたメンバーを紹介しよう！！

・伊藤 友広さん（写真左端）

2004年 アテネオリンピック 4×400mリレー日本代表で日本の4位入賞に貢献。私も所属する0.01SPRINT PROJECTで秋本さんと共同代表を務める。

・梶本 理人さん（写真の左から2番目）

秋本さんの半月板の痛みを改善した再生医療のセルソース株式会社社長。この大会の直前に会社が1部上場し、超多忙の中、マレーシアに金メダルを取りに来たスーパー社長。

・秋本 真吾さん（写真の右から2番目）

スプリントコーチ。指導する選手はプロ野球選手、Jリーガーなど多数。

・仁井 有介さん（写真右端）

スプリントコーチ。主に北海道で活動。100mの自己ベストは4人の中で最速の10秒3台。走りについての知識も豊富で、マレーシアでは多くのアドバイスをもらいました。

～12/2～

100m決勝当日。

秋本さんは予選トップ通過、仁井さん、伊藤さんは快走をみせ、裾本さんは100mを初めて1年にも満たないのに37歳にして12秒台を記録。

皆さん、素晴らしい走りを見せてくれました！

さぁ決勝だというところでトラブルが発生。

なんと、写真判定の機械のトラブルで、ほとんどのレースの結果がわからない状態に。。。

秋本さんや仁井さん、伊藤さんは決勝進出は確実と思われますが、どうになってしまうのか。。。

レースの1時間前になっても、走るレーンや誰と走るかわかりませんでした。

しかし、決勝レースの時間は迫っていました。

秋本さん達は、レースに向けウォーミングアップを済ませ、いつでも行ける準備をしていました。

結局、30分前に決勝を走るメンバーが発表され、無事、秋本さん、伊藤さん、仁井さんの決勝進出が確定！！

そして、その結果は。。。。。



<白と赤のユニフォームが日本。一番奥から伊藤さん、仁井さん、秋本さん。3人が先頭争いを繰り広げる熱い展開！！！！>

秋本さん 10秒97で優勝！！

おめでとうございます！！

伊藤さん、仁井さんは惜しくも8位と4位でしたが、素晴らしい走りを見せてくれました！！

詳しいレースの動画は秋本さんのインスタグラムにあるので、是非チェックしてみてください。

ちなみに、鷺野コーチは待機場所の荷物を誰かに盗まれないように見張る、荷物番という大事な仕事があったのでレースを見ることができませんでした。。。が、動画でレースを確認して、夜のホテルでひとり盛り上がってました笑



<秋本さんの表彰式。やりました！！半月板を損傷しているとは思えない素晴らしい走りでした>



＜裙本さんと秋本さんの2ショット。この1年前、歩くだけで激痛が走る秋本さんの膝を救ってくれたのは裙本さんの会社が手がける再生医療でした。＞

トラブルもあり、海外のレースの難しさを感じた100mでしたが、選手の皆さんは素晴らしい走りを見せてくれました！！

さあ、次は4人で挑む4×100mリレー決勝。
しかし、トラブルが選手達を襲います。。。

日本チームは金メダルを手にする事ができるのか。。。

次回のレポートでは4×100mリレー決勝の様子をお話しします。